

## 令和元年度栽培・養殖・流通部会の概要

開催日：令和2年3月23日（月）13：30～15：15

出席者数：出席委員9名（委員数10名）

### 1 協議事項

#### （1）副部会長の選任について

小濱委員が選任された。

#### （2）令和元年度種苗生産結果及び令和2年度種苗生産等計画（案）について

事務局から県栽培漁業センターの令和元年度種苗生産結果及び令和2年度種苗生産等計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。概要は、以下の通り。

- ・令和元年度の種苗生産は、概ね当初計画と同様か上回る結果であった。
- ・他県との種苗交換について、クルマエビ（1,200千尾）を岡山県のガザミ（600千尾）と交換し、キジハタ（5千尾）を広島県のクロメバル（20千尾）と交換した。
- ・本県を含む瀬戸内海沿岸11府県等が共同で実施したサワラ種苗生産及び中間育成・放流においては、本県は採卵作業及びサワラ種苗初期餌料の調達に貢献したほか、生産された種苗のうち23.6千尾を小田中間育成場で中間育成し、17.6千尾（平均全長75.5mm）を放流した。
- ・令和2年度種苗生産計画（案）について、種苗販売単価は令和元年度と同様とした。
- ・（サワラ共同種苗生産を令和2年度まで一旦休止することについて）委員から、「国の支援なしで関係府県だけで継続することはできないのか」、「休止することについて県内漁業者に了解は得ているのか」など意見があった。

#### （3）令和2年度魚類養殖にかかる対応策（案）について

令和元年度の養殖関係実態調査の結果等から検討した令和2年度の魚類養殖に係る対応策について事務局より説明があり、原案のとおり承認された。委員から、養殖魚の販売状況、オリーブハマチの生産基準についての意見があった。

#### （4）令和元年度藻類養殖事業結果及び令和2年度藻類養殖事業計画（案）について

令和元年度藻類養殖事業結果及び令和2年度藻類養殖事業計画（案）についての説明があり、原案のとおり承認された。

### 2 報告事項

#### （1）香川県水産業基本計画の進捗管理について

平成28年3月に策定された「香川県水産業基本計画」の展開方向のうち「1. 消費者ニーズに即した養殖水産物の安定生産」、「2. 売れる地魚の持続的供給」、「3. 水産物の販売強化と流通の多様化」、「4. 水産物の消費拡大と理解の促進」について、令和元年度の主な取組みと成果、次年度以降の取組みと課題について報告があった。

### 3 その他

委員から、讃岐さーもんの計画生産尾数・生産方法、オリーブマダイの販売方法、地魚の学校給食への利用等の意見があった。

# 令和元年度水産審議会 漁港漁場整備部会の概要

開催日：令和2年3月3日（火）10:00～11:40

出席委員：7名（委員数7名）

## 1 報告事項

### （1）香川県水産業基本計画の進行管理について

漁港漁場整備部会に関する基本計画の指標としては、藻場造成面積、漁港における機能保全計画策定漁港数、漁港海岸保全施設の整備延長の3項目がある。令和元年度は基本計画期間の4年目であるが、藻場造成面積の指標については予算が確保できず、目標に対して進捗がやや遅れている。今後、漁港・漁場・海岸事業の進捗が適切に図られるよう、補助金や交付金の確保に努める旨、報告された。

### （2）令和元年度漁港整備事業の実施状況について

国の交付金事業、補助事業及び県単独補助事業を合わせ約12億円の事業費により、漁港の機能保全、機能強化、海岸の地震・津波対策が実施されたことが報告された。

### （3）令和元年度漁場整備事業の実施状況について

増殖場工事として塩飽地区と播磨灘東讃地区での実施状況、調査事業として詫間地区でのモニタリング調査の結果について報告された。特にモニタリング調査では、人工構造物に多くの有用魚類が集まっていること、餌料生物となるワレカラ、ヨコエビ等の節足動物が多く出現していることが報告された。

### （4）令和元年度水産多面的機能発揮対策事業の実施状況について

事業費約5千3百万円で8活動組織により、藻場の保全、干潟等の保全、海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物処理が実施されたことが報告された。特に干潟等の保全において実施した海底耕うんでは、アサリの稚貝が確認されたこと、魚の生息数が増えたことが報告された。

## 2 協議事項

### （1）副部会長の選出について

青井委員が副部会長に選任された。

### （2）令和2年度漁港整備事業の計画（案）について

事業費約11億2千万円による、漁港の機能保全事業、特定漁港整備事業、港整備交付金事業による防波堤や物揚場の整備、また、漁港海岸の地震・津波対策事業による胸壁・陸こう整備等が計画されており、機能保全事業の工事については、2漁港が継続実施であることや5市2町の42漁港において海岸堤防等老朽化対策事業に取り組む計画案が事務局から提示され、限られた予算を有効に使うよう意見を付して、承認された。

### （3）平成2年度漁場整備事業の計画（案）について

増殖場工事としては、塩飽地区の本島工区、播磨灘東讃地区の津田工区において実施予定で取り組む計画案が事務局から提示され、承認された。

### （4）令和2年度水産多面的機能発揮対策事業の計画（案）について

継続して8活動組織により、藻場の保全、干潟等の保全、海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物処理に取り組む計画案が事務局から提示され、承認された。

# 令和元年度水産審議会 担い手対策部会の概要

開催日：令和2年3月5日（木）13：30～15：30

出席委員：7名（委員数7名）

## 1) 副部長選任

西谷委員が副部長に選任された。

## 2) 報告事項

### ①令和元年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施結果について

#### (1) 事業実施状況

漁業の担い手を確保、育成するため、多度津高校の生徒を対象とした地域漁業体験学習会の実施や、かがわ漁業塾の実施、香川県漁業士の活動支援、漁協等が行う水産教室への助成を行った。

#### (2) 香川県漁業就業者確保育成センター相談状況

香川県漁業就業者確保育成センターにおいて令和元年度に36件の就業相談を受け、13名が就業した。

### ②香川県水産業基本計画の進行管理

香川県水産業基本計画の進行管理のうち、担い手関係について事務局から説明があった。

### ③若手漁業者及び香川県漁業士の現状について

県内漁協に所属する40歳未満の漁業者に関する調査の結果と、香川県漁業士の認定状況について事務局から説明があった。

### ④青年漁業士の認定条件について

青年漁業士の認定状況と青年漁業士認定の制度について事務局から説明があった。

### ⑤漁業担い手育成確保について

香川県における漁業担い手確保の現状、課題、今後の対応等について事務局から説明があった。

## 3) 協議事項

### ①令和2年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施計画について

事務局から次のとおり説明があり、原案のとおり承認された。

香川県漁業士の活動支援や青年漁業士の認定を促進する。香川県漁業就業者確保育成センターによる漁業就業情報の収集、提供を行い漁業の担い手の確保・育成に努める。さらに、「かがわ漁業塾」等事業や新規就業者漁船漁具リース支援事業、新規漁業就業者独立給付金事業、漁業人材育成総合支援事業を実施し、新規就業者の独立支援および漁業就業者の確保・育成を図る。また香川県水産業振興総合対策事業の一部である、漁協等における水産教室や男女共同参画活動に対する助成も引き続き行う。

## 4) 審査事項

### ①香川県漁業士の認定について

知事から香川県水産審議会へ諮問があった「漁業士認定候補者の選考審査」について、指導漁業士候補者5名の適格性を審査し、全員適当であると決定した。

この結果を審議会に報告する。